



じょうぶな体でよく考え力を合わせてがんばる子 ~自分を磨き、仲間と拓く~

4つの目当て

まんぞく授業

さわやかあいさつ

もくもく掃除

ひびく歌声

学校の教育目標を具現するために、4つの目当てを設け、学校でのいろいろな教育活動の中に組み入れて取り組んでいます。昨年度からは特に「プラスの取り組み」として「ゆたかな読書」を重点的に取り組んでいます。

ゆたかな読書

読書は子どもたちの想像力を高め、夢をはぐくみます。また、言葉を増やし多くの情報を与えてくれます。今やパソコンで何でも調べることができますが、自分で本から得た情報は、一生の宝物になります。今年度は「1人100冊」を目標に読書活動に取り組んでいます。



6月に図書館祭りを開催し、子どもたちが読書集会を開き、図書館でのマナーや新刊の紹介、図書館でのイベントの紹介を行いました。さらに、PTAの皆さんによる読み聞かせも行ってもらうことができました。



今年の夏休みも、昨年と同じく土・日曜日を除くほとんど毎日、29日間図書館を開館することができました。さらに今年は、放課後教室の先生方にバーコードリーダーを使った本の貸し出しを行ってもらうなど、子どもたちの読書への欲求を満たしてもらうことができました。

ピッ！で本の貸し出しや返却ができます。



いつ、誰が、どんな本を読んだのか、すべての情報がパソコンの画面に映し出されます。

本校では、夏休み中の本の貸し出し数は、8月31日までの29日間で「3,183冊」になりました。1人平均8.7冊の本を読んだ計算です。「読書の秋」を迎え、子どもたちに本に親しむ習慣が身に付けばと、考えています。

給食センター 掲示板

給食に地場産物を取り入れています

地場産物の活用は・・・

- ★新鮮でおいしい
- ★安全・安心
- ★地域の産物や文化への興味・関心を深める
- ★環境に優しい などの良いことがあります。



県では、食育の推進を重要施策の一つとして取り組んでおり、「岐阜県食育推進基本計画」において、学校給食での地場産物の使用割合を30%以上にするを目標にしています。

学校給食では・・・

米は100%県内産。東濃地方産の「コシヒカリ」です。
パン・ソフトめんには、県内産小麦粉が50%、うどんには100%が使用されています。もちろん、牛乳も県内産です。そのほかの食材も、県内産、国内産の食材を優先的に取り入れています。
今年度新たに、土岐市産の食材を取り入れる計画を地元の農家さんの協力を得ながら進めています。10月には、土岐市産の玉ネギや瑞浪市産の「マコモダケ」などを取り入れる予定です。

地産地消に補助金

米・小麦粉・大豆・県内産物は県・市・JAから、牛乳は(独)農畜産業振興機構から、補助金を受けています。



10月6日の給食に土岐市産の玉ネギを使う予定です。

背丈よりも高くなりました。稲のような、サトウキビのような...



〈マコモダケ〉